佛國J・トウールマンタン著

國際政經學會調査部譯

マソン結社の組織と秘密

佛國J・トウールマンタン著
國際政經學會調査部譯

國際秘密力研究
叢書第五册

マソン結社の組織と秘密

政經書房

6a

2126

著者の言葉

佛蘭西に於ては何人もマソン結社を口にする。フラン・マソン結社は、彼等の日常會話の要素となつてゐる。それにも拘ずこの結社程その正體の知れてゐないものは他にない。つまりその結社の內幕、その結社の秘密は、多年の探究によつて理解し得るものであつて、この結社に關心を持つ程のものは、齊しくこの問題について正確にして而も獻身的な根據を持つ小册子の出現を望んでゐたと思意される。今私はその人々の待望に應へんとするのである。この書に於て私は問答體の形式をとり、問ふものの側にはあらゆる地位・身分の人々、殊にインテリ階級の人々を含め、その質問へ繰返へし說明して行くうちにその解

答を與へると云ふ策をとつた。そうして私は、一般民衆に事の眞相をはつきり而も手取早く了解せしむるためにもこの問答體を一番適當してゐると考へ、終始會話の性質を十分に生かし、簡單平明なものにして置いた。またある人々はマソン結社に關する小冊子は學校の課外教科書となるやうにしたいと希望してゐる。そこで私は終始このことを念頭に置いて仕事を進めた。つまりマソン結社の側に於ては青少年を動かして自らの型へはめやうとあせつてゐるのだ。吾々はこの戰術に對抗するため是非善處すべきである。

私はこの小冊子が不備なものであることを恥づる。併し祖國への愛とフランス國民としての自覺をもつて、この書を公にするものである。

J・トウールマンタン

マソン結社の組織と秘密　目次

著者の言葉……（一）
一　定義・起原・類別……（一）
フラン・マソンは猶太的秘密結社……（一）
名稱の起原……（二）
分派……（四）
各派の統率權の所在……（八）
二　隱語……（一〇）
一般的隱語の例……（一〇）
珍妙な食事時の隱語……（一三）

三　怪奇極まる慣行……（一五）
集會室の裝飾……（一五）
結社員の級位……（一七）
怪奇なる昇級試驗……（一九）
四　戰慄すべき秘密嚴守の律法……（二三）
物凄い宣誓式……（二三）
巧妙極まる脫法行爲……（三〇）
嚴極なる秘密漏洩の取締り……（三三）
五　マソンは猶太結社……（三七）
指導權を握る猶太人……（三七）
猶太人自身の告白……（四〇）
六　マソンは政治結社……（四三）

政務獨占を企畫するマソン……（四三）
選擧場裡に暗躍するマソン……（四六）
マソン議員の義務……（四八）
マソン結社の政治的陰謀……（五三）
社會革命を目指すマソン結社……（六一）

七　マソンは排他的結社……（六二）
反宗敎的法令の起草……（六三）
排他的決議の實例……（六四）
國民學校獨占を企圖……（六六）

八　マソンの潛行的秘密力……（六七）
社會各層を侵蝕……（六七）
敎育聯盟の正體……（七〇）

九　マソンはブルジヨア結社……（七三）
庶民の入會を好まず……（七三）
入會條件……（七六）
入會金……（七七）
一〇　マソンは國際的結社……（七九）
反愛國主義運動を指導……（七九）
各國マソンの連絡……（八〇）
各國マソン共通の合圖……（八三）
一一　結論……（八五）

マソン結社の組織と祕密

一　定義・起原・類別

フラン・マソンは猶太的祕密結社

（Dは質問者・Rは解答者）

D　マソン結社とは一體なんなのですか？

R　マソン結社と云ふのは、猶太的政治的色彩を持つた反民主々義的・排他的・國際主義的祕密結社なのです。

D　貴方は相當深く突込んだ見方をなさつてゐるやうですね。いづれそのお考へに

ついて説明を願ひたいとは思つてゐますが、まづこの結社の起原から説明して下さいませんか?

R　マソン結社員の言葉に從へば、その起原は古代にまで遡るやうです。なる程現在彼等の行つてゐる儀式・典禮・傳說の類は、或ひは埃及の古代密敎に、或ひは猶太敎の典籍に、繫りを持つてゐるやうです。事實今日在るが如きマソン結社は、約二百年前英國で結成された時をもつてそのはじめとすべきであります。つまりそれは英國から世界各國へ蔓延したのであつて、就中佛蘭西へは一七二四年頃入つて來たものらしく、最初に出來たロッジユと云へばあの巴里のブーシエリイ・サン・オノレ街のものです。（註、ロッジユとはマソン結社員の集會所を云ふ）

名稱の起原

D　では、フラン・マソンと云ふ名稱は何處から來たのですか？

R　中世紀にあつた石工（マソン）組合から來たのですが、彼等は君主の下にあつて數多くの特權（フランシーズ）を與へられてゐたところから、フラン・マソンと自稱してゐたのです。併し現在のマソン結社は、この昔の特權ある同業組合とその名稱を同じくするのみで、中世のマソン結社員達はその精神、傾向、慣行に於て現在のものとは雲泥の差があり、篤實な善良な公民、誠實なキリスト敎徒だつたのです。

D　ところで今お聞きしましたところによりますと、今日マソン結社員について世人の考へてゐる高邁なる志操、嚴正な精神、崇高な人類愛に疑惑をかけられたやうですが……？

R　いや疑惑などゝと云ふ生やさしいことではないのです、彼等のその表看板を卸さしてやらうと考へてゐるのです。どしどし不審な點に就て質問して下さい。一々

證據をあげて、マソンがそのやうに立派な精神の人道主義者であらうなぞとは、もつての外のことであると云ふことをお知らせしませう。

分派

D　漠然と聞いたのですが、マソン結社には種々なる支流があるそうですね、その點についてお教へ願へませんでせうか？

R　そうですね、現在では非常に多くの支流がありまして、リットとかオベディエンスと呼ばれ、就中米國では特殊のリットをレジオンと稱してゐるらしいのです。併し一先づこゝでは他の諸國のことはお預りして、佛蘭西だけについて申しますと、五つの分派が出來てゐます。そうしてその各々はその重要さの點に於て一致してゐないやうです。

D　なんでもグラン・トリアンだけでもフランスのマソンの五分の三を網羅してゐるとのことですが本當でせうか？

R　如何にも、グラン・トリアンは現在三萬乃至三萬一千名位のマソンを包容してゐます。そうして彼等は四百五十四のロッジユ、九十三のシャピートル、四十三のコンセーユ或ひはアエロパージユに屬してゐるのです。

D　シャピートルとかコンセーユと云ふ言葉がそうした意味に使はれてゐるとは初耳です。いづれ説明願ひたいのですが、ついでにグラン・トリアンの外にどんな派がありますか？

R　第二位にあるものとしてはル・リット・エコセ（蘇格蘭系）で、簡單にレコッス派とも呼ばれてゐます。この派に屬してゐるマソンは一萬六千弱で、二百十九の支部、六のトリアングル、約六十のシャピートル或ひはコンセーユに分屬してゐま

す。またこの派は二つの支派に分れて、一つは『シュプレーム・コンセーユ』、他は『グラン・ロッジュ・ドゥ・フランス』と呼ばれてゐます。ところが嘗てこの兩者の間に或る確執があつたもので、第二の『グラン・ロッジュ・ドゥ・フランス』の方は、三級位以上の級位は無用なもの、マソン結社の精神を誤るものとし、全員三級位制を嚴守してゐましたが、數年來次の様な協調が出來上つたのです。即ち兩派はそれぞれ自治制を確保して行くこと。シュプレーム・コンセーユ派は第三級位以上の集合所を統轄し、グラン・ロッジュ派はロッジュ・ブルュー或ひはロッジュ・サンボリックと呼ばれる下級位支部を統轄し、更に兩派は又コンセーユ・フエデラル（聯合委員會）を設けて全般に渉る指揮、統制をはかることになつたのです。

D　また説明を顧はないと解りかねる言葉が出て來ましたね、併しフラン・マソン結社の分派のお話しを片附けて頂きたいと思ひます。

R　その他の分派と云つても大してある譯でなく、『グラン・ロッジユ・ナショナル』、『リット・ド・ミスライム』、『混合マソン結社』で、最後の派には『ル・ドウロア・ユメーヌ』と云ふ別名もあるのです。

第一の『グラン・ロッジユ・ナショナル』は所屬會員一、五〇〇、支部二十六を有する外、主に在佛アングロ・サクソンを會員とする若干の特別な支會を監督してゐますが、この支會は英國の『グランド・ロッジユ』によつて認定されたものです。

次の『リット・ドウ・ミスライム』は、現在フランスでは一番勢力も低下して支部の數も少なくなつてゐますが、それでも一九〇一年の內部統制整理の結果、その前よりは少々その頽勢を取戾してゐると云ふ有樣です。

第三の『混成マソン結社』は、當時の上院議員ジョルジユ・マルタンとマリア・デライズムとによつて前世紀末に創設されたもので、現在六十二の支部と七つのロ

ッジユと一つのコンセーユとを包含してゐます。この派の特色は婦人をも男子と同樣入會させることで、一般にグラン・トリアン派もシュプレーム・コンセーユ派も今日まで絶對に婦人の入會を拒絶してゐます。

各派の統率權の所在

D どうも有難たうございました。フランスのマソン結社は五つともよく解りました。併しこの各派をそれぞれ指揮する統率權が何邊に所在してゐるかについては、まだ何もおつしやいませんでしたね……

R グラン・トリアン派の委員會（ラ・コンセーユ・ド・ロルドウル）は、巴里カデ街十六番地のソシエテ・シヴィルなる名稱をもつホテルにその本據を据へてゐます。また蘇格蘭派にしてもグランド・ロッジユ・ナショナル派、混成マソン結社派と同樣巴里にその中心を持ち、こ

れらがその總てを統制してゐるのです。ところでそれらの所在番地ですが、蘇格蘭派はプトオ街八番地、グランド・ロッジユ・ナシヨナル派はロッシユブーアール街四十二番地、混成マソン結社はジユール・ルブルトン街五番地です。次にミスライム派は全體としてまだ〱統制がなく、自分の知る限りに於ては、中心的機關と云つたものを持つてゐないやうです。併しこの派のグラン・コセルヴアトウール・デユ・リット（註 役員會と云つたもの）がリオンにあるにはあるのです。

其他に全然猶太人のみを會員とするブナイ・ブリット派のロッジユ一つ、ノウーヴエル・グランド・ロッジユ派及びリット・マルチニスト派のロッジユが各一つづつありまして、後者の指揮には長老ジヤン二世と呼ばれてゐるフラン・マソン結社員ブリコが當つてゐます。

二　隠語

一般的隠語の例

D　マソン結社員達は彼等の間の特別な用語を話すそうですが、貴方にはその用語がお解りになりますか？

R　よく解ります。まづマソン結社員達は ecrire（書く）とは言はず、その代りに buriner（彫む）とします。そうして彼等の用ひるペン（plume）は pinceau（刷毛）と云はれるのです。彼等が "planche（板或ひは金屬板）へ buriner（彫む）" とか、"ba-lustre（手スリ）へ彫む" と云へば、それは『手紙を書く』『調書を作成する』又は『論文を書く』の意となるのです。そうして集會通知書のことを une planche de

"Convocation"（集會の板）と言ひ、"une planche tracée"（書入れた板）は支部宛書面のこと、"une planche à tracer"（書入れ用の板）は白紙を意味するのです。

『一つの建築物』或ひは『建築物の一部』とかは、マソン結社に關する一つの論文又は詩の一篇を指すことになります。

また支部長（Vene able）がフラン・マソンの門番（Couvreur）に殿堂（temple）はよく戸締り出來てゐるかと訊ねる場合、それは『タンプルはよく閉ざされてゐますか？』と云ふことになるのです。また『タンプルを閉ざす』と云ふ言葉は、『ロッジユ』から退出することをも意味します。次はその一例で、アプランティ級の者があまり長くロッジユに居殘つてゐると、「さあもうタンプルを閉じることになさい」と云つた言ひ方をするのです。

監督員（Surveillants）と云ふのは支部長の下に位する二、三名の役員なのですが、

この監督員達の役目はタンプルの雨漏を監視するにあるのです。

若し會衆のなかに非マソン會員又はまだ正式に入會を許されてゐない者が交つてゐるのを發見すると、彼等は「あッ、雨漏りがしてゐる、皆さん闖入者に用心なさい！」と叫ぶのです。

入口の扉のところには tuileur（トゥイユール）（檢分係、併し元來の語義は瓦葺職人）が立つてゐて、入室するマソンの會員資格・級位を檢分する。かくすることを瓦葺き（トゥイラージュ）をすると言ふのです。

D　そのやうに嚴重に監視するところから見れば、マソン結社なるものはよく〳〵秘密主義なもので、好奇心などからマソン外のものがまぎれ込むのを極端に嫌ふのですね。いや、お話の腰を折つて相すみません。

珍妙な食事時の隱語

Ｒマソンの用語では食事に關するものに異色なものがあります。如何なるニガリヤさんでも微苦笑せずにはゐられない程珍妙なものです。

第一食卓につくとは申しません、"plate-forme（平屋根）又は l'échafaud（足場或ひは棧敷又は斷頭臺）の周圍に座を占める" と言ひます。

食卓についたマソンの前へ配られる皿のことを bouclier（楯）或ひは tuile（瓦）と言ひます。膝へかぶせる serviette（ナプキン）は drapeau（旗）です。また bouteilles（酒瓶）又は Carafe（水さし）は barrique（大樽）と云ひます。それからこれらと共にコップは Canon（大砲）で、コップへ水なり酒なりを注ぐことは『大砲に裝彈する』と云ひ、支部長又は宴會の司會者の面前で皆が一齊に飲みはじめるのを『砲

撃を開始する』と言ひます。

また酒のことは强性火藥・赤色火藥、又は白色火藥とも云ひ、水のことを弱性火藥と呼んでゐます。併し水のことは一名雪解けとも名づけてゐます。その他林檎酒（シードル）又はビールのことを黃色火藥、ブランデイのことを强性酒又は爆藥と云つてゐます。

またスープを匙で啜るとか、肉をホークで食べるとか言はないで、truelle（トルウエル）（左官鏝）と pioche（ピオッシュ）（錠）で啜つたり食べたりすると申します。そうしてナイフのことを glaive（グレーヴ）（劍）とも云ひます。

また料理された食物は、Matérial（マテリアル）（建築材料）又は Solide（ソリッド） Mastic（マスティック）（固型漆灰（セメント））で、喰べること即ち食事は travail（トゥラヴイユ） de（ド） Mastication（マスティカシオン）（セメント工事）と云ひます。麵麭は pierre（ピエール）（石材）、肉を切ることを dé-grossir（デグロシール）（荒削りする）と云ひます。また味付けをする樣な場合にも鹽で、胡椒で、芥子で、と言ふ代りに、砂で、セメント

で、黄色砂で、と言ひます。

彼等の着席する椅子は Stalle（スタール）（僧座）と稱し、彼等の會合は大概日沒後に行はれ、而も窓と云ふ窓は常に閉されてゐて燈火を用ひますが、その燈火も彼等は étoile（エトワール）（星）と呼んでゐます。

三　怪奇極まる慣行

集會室の裝飾

D　まだこの外に明らかにしていただきたいことがあります。例へばタンプルとかロッジュとかアトリエとか言はれましたが、それらの間にどんな風に相違があるのでせうか？

R ロッジュ又はアトリエと言ふのは、フラン・マソン結社員の集りで、これらの言葉は彼等が集まる場所にも用ひられてゐます。併し彼等がその儀式を行なつたり集會を行なつたりする室は特にタンプルと言ひます。

D その室はどんな具合になつてゐますか？

R その室には、集つて來るマソンの級及び派の相違に従つて、青、黒、赤の壁紙がはられてゐます。そうしてその奥の方には支部長（ヴエネラル）の座席と天蓋附きの祭壇があつて天蓋の尖端には一つの眼が飾りつけられてゐますが、これは象徴的なもので、きら〳〵光り輝いてゐます。

またこの祭壇の上には三つ枝の燭臺（シャンデリイ）とぎらぎら光る劍一振と一つの木槌とが置かれてゐます。Secréteire（スクレテール）（書記）と Orateur（オラトウール）（説教役）と l'Hospitalier（ロスピタリエ）（慈善金品取扱者）はそれぞれ、名札のついた卓子に着席し、またその他の主なる支部の役員とし

ては數名の檢分役、一名のエクスペル（鑑定者）、一名のクーヴリユール（門番）とがゐて、それぞれ特別な徽章をつけてゐますので、それと一目ではつきり分るのです。

D その役員以外のマソン達もなにか特別なものをまとつてゐるのですか？

R 彼等は前掛をかけ、胸部で十字違ひになるやうな飾紐或ひは懸章を着用してゐます。それに又高級位中の或る級位に屬するマソン達のなかには、飾紐の代りに一種の頰被り頭布をしてゐるものもあります。

結社員の級位

D 級位は澤山あるのですか？ 詳しく話して頂きたいのですが？

R では主要なものだけをお話しておきませう。初めの三級位は一がアプランテイ、

二がコンパニオン、三がメートウルです。そうしてこの第三の級位メートウルを授けられた者は、中央の暗室（シャンブル・スクール）に於て認定を受け、それによつて完全に光明を得るに至つたものと見られるのです。フラン・マソン結社のこの三級位のものが、所謂象徴マソン結社或ひは青色マソン結社を組織してゐるのであります。

そうしてその上に薔薇十字（ローズ・クロア）或ひは第十八級のうちに含まれる宗派が來るのです。薔薇十字のアトリエ（道場）はシャピートウルであつて、その統率者は "Très Sage"（いと聖なる者）の名で呼ばれてゐます。

更にそれより高いマソン、即ち第十九級位から第三十級位に到る高級位は grades philosophiques（眞智階級）のものを包み、それらは Chevalier Kadosch 或は第三十級の名のもとに包括されてゐます。そして彼等の集りは、一人の統率者のもとに行はれ、Conseil 或ひは Aréopage（名士の集り位の意味）と呼ばれてゐます。最後に第三

十一、三十二、三十三級が、即ち "Grand-Inspecteur" (又は "Grand-Inquisiteur" 或ひは "Grand-Commandeur") と "Sublime Prince du Royal Secret" と "Souverain Grand Inspecteur" とがあります。併し彼等は特にそのアトリエを持たず、Kadosch の集る時一緒に集ることにしてゐます。

怪奇なる昇級試験

D ところで、これらの級位を得るためには試験のやうなものが必要ださうですが御存知でせうか?

R 試験のうちでも私共に一番異様な感を與へるのは、最初の三階級に課せられてゐるものです。併しこゝでは簡單にそれを説明するにとどめませう。

第一級位 Apprenti を願ひ出た者は、le Cabinet de Reflexions (瞑想室) へ閉ぢ込め

られ、そこで與へられた試驗に答案を認めます。そうして眼隱くしをして應接室へ連れ込まれるのですが、着衣は左の胸と膝とが露はな程切り開らかれ、靴を脫がされ、スリッパを穿かされて、脫いだ靴は手に持ち、所持金は蟇口ぐるみ取上げられます。そこで彼は旅行を象徵する行爲を三度、或ひはそれに似た行爲を若干させられます。そうしてその行爲の後で彼は恐ろしい內容の宣誓或ひは誓約をなさしめられ、その上でいよ〳〵マソン間の特殊な合言葉と合圖を敎へられ、アプランティなる名稱を授けられます。併し、これらの總ては決して靜肅な裡に行はれるのでなく、盛んな訓話と饒舌のうちに執り行はれるのであります。

第二級位 Compagnon（コンパノン）の場合には、旅行を象徵した行爲が三度から五度になり、第一級位の場合に劣らず騷々しいうちに總ては執り行はれるのであります。

それから La Maîtrise（ラ・メートゥリーズ）の場合ですが、この階級の級位授與式に至つては怪奇と嚴

肅を極めたものであります。室内は黑色の幕で張りめぐらされ室内は暗く、數箇の髑髏が飾られてあるのをはじめとし、イラムの柩が据へられてあつて、志願者はこれを一定の足捌きをもつて跨がされるのであります。

この行事はイラムの傳說、イラムを暗殺した三人の同職者が、夜陰に乘じて彼の屍體を埋めてしまつたところ、彼等が目じるしに挿して置いたアカシャの枝のために偶然にその屍體が發見され、イラムの屍體に違ひないことが解つたと言ふ傳說から來たものです。

そしてこの『柩の跨ぎ』がすむと、志願者は「ヒカゲノカツラの花粉」を少量つめた特殊な煙管をくゆらさせられ、彼等は自分が十分の光明を受容れたと言ふ旨を宣誓するのです。

D どうも總てが子供のマヽゴトみたいで、而も何んだか不氣味なやうに思はれま

すね。併しまだ〳〵怪奇な試練が課せられるやうに聞いてゐますが……

R そうしたことの行はれたのは餘程以前のことでして、かうした慣行や儀式が餘りに常軌はずれなのを悟つた譯ですね。隨つてそれらの大部分は廢止され、殘つてゐるものとても漸次改良が加へられてゐます。ところで一つ怪談的興味と言ふ點から見て、相當有力なマソン結社員ベリョン博士が嘗つて物談つたところを受賣り致しませう。

『アプランテイ級位を志願する者は、眼隱しをほどこされ、廊下をあちらこちらと何百回も引き廻され、それから建物の最上階まで昇らされた上、そこで試問に對する答辯をのべるのです。それから彼は兩足を結はへられ、長い綱の一端でしつかと胴體を縛られた上、滑車でその高所から吊り降され、地下の井戸（今でもこれはあるが）の底に近いところまで（大約七十メートルあたりまで）おろされるのです。

水面には特にしつらへた格子があつて、志願者の足が後數デシメートルのところまでおろされ、時には豫め志願者の足に數枚の橄欖の葉を結へ、格子の上へは數匹の兎を置く、そこで上からおろされた志願者の足の橄欖の葉を見て、兎が飛びかゝる。なんと恐ろしい氣持がすることでせう。古いしめつぽい井戸の中で得體の知れない動物が足もとへ飛びつくことは……（マソン結社員エドガール・ベイヨン『ロッジユ・ル・フエニックスの話』三八頁）

四　戰慄すべき秘密嚴守の律法

物凄い宣誓式

D　以上の言葉は、フラン・マソンが自らを卑俗から切離して來たといふことを示

してゐるやうに考へられます。併し今までのところでは、その用語が特異であると言ふだけで、それに危險な性質は含まれてゐるやうに思はれませんし、別に貴方が最初言はれたやうな秘密結社的な暗さと言ふものがあるとも思へませんが、そこのところを一つ御說明願ひたいものです。

R　それを說明し證據づけるものならば多くて撰擇に困る程あります。まづ儀式の方から始めるといたしませう。

グラン・トリアンの志願者は次のやうな Serment（誓約）―マソン結社の慣用語をもつてすれば Obligation―を强制されます。即ち、

『嚴正と公正の表徴である曲尺とフラン・マソンの律法書とにかけて、熱意と不撓の精神をもつて、フラン・マソンの宏業に與り働くことを誓約するものなり。わたくしめはマソン律法遵守に忠實を誓ひ、その秘密を命ぜられたる一切につい

て漏洩を固く誡しむるものであります。』（グラン・トリアン結社、アプランティ級心得書、一八八七年版四一頁）

これよりも少し以前の同級位心得書にも次のやうなのが現れてゐる。

『わたくしめは名譽の象徴なるこの劍と律法書とにかけて、尊嚴なるマソン社より示し知らしめられたる一切の祕密及び結社内にての一切の見聞を嚴に他へ漏すことなく、また特別の許可なき限りそれ等について一行の文をも書くことなく、許可を得て書く場合にも指定された範圍と樣式に於てのみなすことを誓約するものであります。』（グラン・トリアン、アプランティ級心得書・一八八〇年版二一頁）

D グラン・トリアン派では、何處のロッジュでもこの例式のみが一樣に採用されてゐるのでせうか？

R　いえ、ある道場（アトリエ）の如きは特に別の例式に從つてゐます。"La Loge Clemente Amitié" は次のやうな例式に從つてゐます。

『名譽の象徴なる此の劍と公義の嚴正を表はしかたどるこの曲尺と、爾後わたくしめの有となるフラン・マソンの律法書とにかけて、マソンの集りに於て見且つ聞く何事をも口にし筆にすることなく、また特別の許可なき限り、及び指定されざる限り、グラン・トリアン結社員に關する問題について語り、或ひは書くことなきを誓言するものであります……、而してこの誓約に叛くことあるに於ては、わたくしめの背信のもたらしたる處罰を甘受し、わたくしめが總てのマソンの呪ひを一身に受けるも、何ら含むところのないものであります。』("La Loge Clémente Amitié に於て行はれるアプランテイ及びコムパニヨン級位の儀式書、一三頁及び一四頁)

D　そうですか……するとフランスのグラン・トリアン派とその所屬ロッジュは、入會者に對して隨分凄い誓約を要求するものですね。こんな嚴重な誓言は、どの派にも共通なことですか？

R　いや、蘇格蘭派のはもつとひどいのです。この派の“Grand（グランド） Loge（ロッジュ） Symbolique（サンボリック） Ecossaie（エコセ）”の宣誓式はこんな風なものです。

まづ支部長が志願者に向つてこう言ひます。

『貴下よ、定めの宣誓式を行ひます、よくお聽き下さい』

「貴下は、貴下自らの自由な意思よりして、この派のマソンのかく參列せる前に於て、嚴肅に誠實に、フラン・マソンの祕密を他の何人にも洩らすことあるまじきを約し誓はれるのですが、……異存はございませんでせうね？」

そこで志願者は、

『では私の後について繰返し下さい－「わたくしめは、若しこの宣誓を破りましたる場合には、たとへ喉もとをかき切らるゝもいとはないものであります。」(『グランド・ロッジュ儀式書』ボーマルシェ編、ドーブル印刷、第九九號、二〇、二一頁)

「異存ございません」

D あゝ、それで祕密結社であることがはつきりして來たやうです。

R ところでここに一つぞつとするやうなのがあります。まあお聽き下さい。

『わたくしめは、わたくしめの發意に於て、宇宙の大いなる建築者及び尊敬すべき列席のマソン諸彥の面前に於て、嚴肅なる誠心をもつて、わたくしめに示されたるフラン・マソンの祕密を堅守して漏洩することなく、またそれらについて書き、描き刻することなきを誓言致すものであります。萬一この誓言に違反しましし

たる場合には、喉もとをかき切られ、舌根を抜かれて海の砂に埋められ、滿ち來たれる潮がわたくしめを永遠の忘却へ拉し去らうとも、それは覺悟の上のことでありますº』（グラン・ロッジュ「テバ」結社の第一級位授與式の開序・終幕の儀式）

以上はアプランティイ級位のためのもので、コンパニヨン級位の誓約は更に鬼氣迫るものがあります。

『萬一この誓約を破りました場合には、心臟を抉り出され、五體は燒かれ、わたくしめの死灰が風に吹き散らされやうとも、また私めの存在がマソン諸彥の腦裡から消ゆるとも、何んら異存なきものでありますº』（『エコス派・フラン・マソン結社の儀式』三二頁）

D　全く戰慄ものですね。併し結社の祕密を守ると言ふかうした嚴肅な宣誓も、どちらかと言へば、單に形式上のもので、實行とは緣の遠いもののやうに思へますが？……現にグラン・トリアン派は特別な雜誌を發行してゐて、これは絕對祕密と言ふ建前とは反してゐるやうですが？

R　なる程さうも考へられますね。その雜誌 "Le Bulletin du G∴ O∴" は、以前國立圖書館へ納付されてゐましたから、誰にでも讀まれてゐる筈です。併しその編輯方法は、假令へ祕密が洩れても最少限度にとどめるといつた具合になつてゐるのです。編輯に當つてゐた一マソン結社員が總會で質問者ムールニエに答へたところは次の通りであります。

『貴下も既にお氣附きのことでせうが、何か重要な事項が出て來ると、別の埋草的な文字が差し換へてあるのです。本當に大切な事柄は十中八九まで隱してありますが、これはまた當り前へのことで、或る種のことが世間へ知れることは、吾々にとつて危險を意味するからです。』（グラン・トリアン、一八九三年度總會報告書五〇三頁）

D　マソンはなか／＼用心深いと見へますね、お言葉では、"Le Bulletiu dn G∴ O∴"（ル ブルタン ヂユ グラン トリアン）が國立圖書館へ納本されてゐるとのことですが……

R　それは以前のことです。實のところ貴方のそのお訊ねを待つてゐましたので、その點からしてもあなたはマソンがなにがために秘密結社であるかをよく了解されることでせう。即ち、一八九六年以來は、（實にマソン的な奸計によつて）法律上の規定があるに拘らず、この雜誌は納本されなくなつたのです。それについては次

の如き一八九六年度總會報告書が事實を明にしてゐます。

『フラン・マソン結社員ダゼ（發言）……「吾々はグラン・トリアン委員會に於て結社の利益を考へましたる結果、從來の Bulletin に變更を加へ、印刷物と云ふ性質を帶びて公衆に渡る恐れのあるやうな内容を、全然取去ることにしたのであります。吾々は納本を強ひられるやうな雜誌風のものを印刷する必要がないことを認めました。隨つて名稱も Bulletin から Compte-rendu（報告書）へと變更しました」』

D　なる程、獨特な高飛車な遣り方を避けたのですね。併しこのやうにまでペテンにかけられた當局者は、早速追及の手を延ばすでせうが……？

R　ところが、この脱法行爲は當局と馴れ合の上でのことで、當時國立圖書館宛てに詰問書が提出されたこともありましたが、それに對して館長は、遺憾ながらこの

脫法行爲に自分は制裁を加へる權能がないと聲明しました。また同樣な詰問書が文部、內務の兩大臣へ送られましたが、前者は權限外を理由とし、後者は全然回答致しませんでした。

嚴格なる秘密漏洩の取締り

D 怪しからん譯ですね、昔は王者の禮と云ふことが言はれたもので、これは政務或ひは臣下との交渉に几張面であることを指したのですが、第三共和國以後に於ては大臣の禮さへ人の口にのぼらなくなりました。さて、それはそれとして、グラン・トリアンの會員に對する嚴格振りについて、何かその他にこれはと言つた立證的事實を御存知でせうか？

R マソンのうちに口輕なものがあつて何かの機會から局外者にお喋りしますと、

その一例として一マソン代議士の場合を掲げることが出來ます。

そのものは疥癬病みの羊としてフレールから苛酷な取扱ひを受けるのです。

D それをお話し下さい。

R ではグラン・トリアンの本部から出てゐる印刷物（一八九八年三月、一九頁）に出てゐるものを引用することとしませう。

『フラン・マソン結社員エドガール・モンテイユ氏は、委員會に對し、“Réunion”の代議士マソン結社員たるマイ氏が最近ジャンヌ・ダルク紀念祭日の制定に關する法律案について、下院でとつた態度は頗る遺憾である、と陳述した。即ちマイ氏は、マソン間の秘密を破り、彼が名譽會員になつてゐる“Clemente Amitié”ロッジュからマソン議員のみにあてられた廻章の所々を演壇で讀み上げたと云ふのが、モンテイユ氏の指摘した遺憾なのである。』

D　フラン・マソン結社員エドガール・モンテイユ氏と云へば、お目附役と云つた存在ですから、彼がマイ氏について密告したとしても、大して驚く程のことではないでせう。

R　なる程ね、併しこの場合モンテイユ氏は只單にある腹いせにやつたらしいのです。つまりそれは數年前のことです、彼は下院での彼の不用意な饒舌からこつぴどくやられたことがあつたのです。その頃彼は "Clemente Amitié" ロッジュの會頭だつたのです。その時の彼への攻撃は一八九三年三月二十一日の "Le Bulletin du G∴ O∴" の八十七頁に次の如く出てゐるのです。

『春分の日開かれたる "Le Conseil de l'ordre" は、"Le Clemente Amitié" の支部長がマソンに關係のある秘密を俗世間に洩したることを、全員齊しく恥辱と感ずるものである。吾々はこれをもつて入會時の誓約を破れるものと考へる。』

D　よく解りました。併し、若しそうであるならば、マソン結社は彼等の秘密をもらすからと云つて、その種の新聞紙にそれ程の嫌惡を持つことはない譯ぢやありませんか？

R　それについては一言申上げませう。例へば"La libre parole"の暴露の如きは彼等の陣營に一脅威を與へたのでした。

回文がひつきりなしに支部長のもとへ廻され、自らマソンなりと稱し、ある種の秘密書類を手に入れんとしてゐる者への對策としてゐます。

尤もロッジュの秘密を金のために裏切る有力なマソンも相當にあります。若しそうしたものを發見した場合には、グラン・トリアンも大變な騷ぎです。

D　それではつきりしました。マソン結社の秘密が、社會に對してどのやうな力を持つてゐるかを了解しました。

R　特に政府に對してね……。私はあなたに次のやうなことを申上げたいですね。マソン結社がフランス共和國を議會制度とし、それにその惡德を投げ入れ、而もそれを黨派的な、不正な弱體的なものにしたのも、その秘密主義によるのであります。

五　マソンは猶太結社

指導權を握る猶太人

D　あなたは、フラン・マソン結社は猶太結社だとおつしやいましたね。一體彼等のうちにどの位猶太人がゐるのでせうか？

R　さうです、澤山ゐます。若し "France Catholique"（フランス カトリツク）の編輯者ヴエラックスを信ずるならば、フラン・マソン結社内の猶太人の割合は七〇％であります。（一九三二年四月號の『フラ

ンス・カトリック』參照）

隨つて現在のフラン・マソンの創設者が猶太人であると言つても過言ではないのです。

D　併し私は久しい間ロッジュは猶太人を避けて來たやうに聞いてゐますが？

R　そうした傾向がなかつたとは申しません、併し猶太人はキリスト教徒とか、ゴイの全然混らない特別なロッジュを持つてゐるのです。それはブナイ・ブリスと呼ぶロッジュで、佛蘭西では巴里のブランシュ街一番地にその道場を持つてゐます。（一九三二年の創設）

D　猶太人は現在のフラン・マソンの指導者だと申しますが、それは確かですか？

R　それは確かです。

D　それを一つお話し願へないでせうか？

R　喜んで申し上げませう。まづベルナール・ラザールの言葉からはじめませう。

『フラン・マソン結社の揺籃期に猶太人、古い儀式を持つた猶太人がゐたことは確かである……。その猶太人達は Weishaupt et Martinez pasqualis を中心として集つてゐたので、それはポルトガル生れの一猶太人がフランスのイルミニストの團體を組織して、その會員を募集したものなのである。……』(B・ラザール、『ランテイセミテイスム』三三九―三四〇頁)

また猶太人著述家ラビ・ベナモッツエックは次の如く書いてゐます(『イスラエルとその人間』一七一頁)。

『猶太教がフラン・マソンの一分派をなしてゐると言ふ非難があつたとて今更驚くことはないではないか? それがフラン・マソンの一分派であることは、マソンの接神論がその底に於てカバルの接神論にも比すべきものであるが故に、明で

ある。』

大教法師イサック・ワイズは又次の如く證言してゐます。

『マソン結社は猶太の組織で、その歴史、その階級、その儀式、その慣用語、その表現凡て一から十まで猶太的である。』（一八五五年八月三日の『イスラエリット・オヴ・アメリカ』）

猶太人自身の告白

D どうも有難うございました。そのあたりで十分です。ところで、現在のフラン・マソンに於ける猶太人は、自らの分を知つた者ばかりでせうか？

R それがそうでないのです。之を證明する非猶太人フラン・マソンの言葉があります。

『ル・サンボリスム誌はフラン・マソンについて次の如く云つてゐる、彼等の最初の行爲はその知識の聖なる殿堂を不斷に守る猶太民族に光榮あらしむるやうにすることとであつた。彼等はそれによつて國境を取去らんとするのである。』（サンボリスム誌）

フラン・マソン結社員、マック・ゴウアンは次の如く言つてゐる。

『フラン・マソン結社はイスラエルの古い信仰にその基礎を置いてゐる。……イスラエル思想がフラン・マソンの善又は美とか云ふものゝ基礎をなしてゐるのである。』（一九三〇年四月のフリーメーソン）

また獨逸の一マソン結社員ルドルフ・クラインも次の如く言つてゐます。

「吾々の儀式は終始猶太人的のものである。即ち吾々は現在の猶太教とはつきり關係を持つてゐることになる。そうしてこの儀式は世界の凡ゆるロッジュに共通

なものである。』（一九二八年七―八號『ラトミア』）

其の他このやうな引用をすることは非常に容易なことであります。

フラン・マソンのあるお偉い方の一人バゾォは次の如く書いてゐます。

『革命の犧牲ジエルサレムは破壞され、猶太民族はそこから脫れ、マソン結社は地球上に擴がつたのである。』（フラン・マソン年代表）

有力なカバルリストであり妖術師であるフラン・マソン結社員ダイネルは次のやうなことを書いてゐます。

『猶太の行動、猶太の侵入、猶太の嫌惡！　如何に屢々私は、猶太人が全世界の道場、コンセイユ、グラン・トオリアンに課するあの世界征覇の聲を聞いたことか？』（神父バブリエの『マソンの敎會への侵入』第一二一頁）

以上は十分、フラン・マソン結社内への猶太人の侵入を示すものと考へます。

六　マソソは政治結社

政務獨占を企畫するマソン

D　若しお差支へなければ、フラン・マソン結社が政府の事務に喰ひ入つてゐると言ふ點についてお話し下さいませんか？

R　勿論お話しませう。喰ひ入つてゐるどころぢやありません、彼等は政務を獨占してゐます。

D　で貴方のおつしやる意味では、マソンの流れるところ、そこに政治結社があることになるのですか？

R　さうです。その本質から言つて彼等は政治にその主力を置きます。

D 併しマソン結社の組織は、その結社が政治に加はることを忌避するやうに出來てゐると云ふことぢやありませんか？

R 長い間世人はこの結社を輕く見て來たのです。一八八四年四月十二日巴里に、有名な議員フラン・マソン結社員メジユルユールによつて、"la Grande loge Symbolique Ecossaise" が出來上つたのです。そうして彼等は "la Grande loge" が總ての政治討議を禁じてゐる條項を無効なものとして提案してゐるのです。勿論この提案は可決されました。("Bulletin de la Grande Loge Symbolique Ecossaise" 第七卷三五頁)

D 貴方は少數派の "La Grande Loge Symbolique" に就いてお話し下さいました、併し "le Grand Orient" は如何でせうか？

R ではグラン・トリアンの機關誌 "le Grand Orient" を見ることにしませう。(一八八六年九月の "Bulletin du G∴ O∴" 五四五頁)

『一時吾々は、マソン結社の宗教及び政治に干與するものでないことを聲明した。尤もそれは嚴重なる規則からでなく、一つの形式主義の上からなされたものである。それは決して僞善的なものではない。法律と警察權とから强要され、已むなく形式的聲明を行つたので、實は吾々は既に早くから此の二つは吾々の干與すべきものたるを自覺し、寧ろそれをこそ吾々の仕事として來たのである。

然り、吾々は政治の分野に進入する。吾々の總ての委員會に於て討議される事は、政治及びそれ以上のことでなくてなんであらう。』

D これはどうも驚きました。こんな文句を聽かされると、今日まで私がフラン・マソンについて考へてゐたことは、餘程修正されねばなりません！

R また彼等はこんなことも言つてゐます。

『マソン結社はどこまでも政治の僕でなく政治の主でなければならない。』

D　彼等の正體がそろ〳〵摑めて來たやうです。すると、政治の主となると云ふ目的から言へば、どし〳〵政界へ會員を送り、その權力ある位置へ彼等を据えるやうに全力を盡すことになる譯ですね。

R　確にそうです。彼等は凡ゆる巧妙な策謀をめぐらして政黨内へマソンの代議士を詰め込もうとしてゐます。

D　フランスの一般選擧權所有者は、それについてどう考へてゐるのでせう。

R　彼等と來ては血の巡りの惡いのが多く、候補者の眞の所屬が何れにあるかをさへ少しも理解しないのです。で、これらの候補者が當選して議員になるや直ちに、彼等は下院のマソン代議士ブロックへ入るのです。一八九一年の "Bulletin du G∴

O∴" にも次の如く出てゐます。

『吾々は議會の核心に純然たるマソン・サンジカ（組合）を組織してゐる。』

（"Bulletin du G∴ O∴" 一八八八年號五二九頁）

その後この組合は "Groupe（グループ） Fraternel（フラテルネール） parlementaire（パールマンテール）"（議會同交會）と改組され、そのことは次のマソン代議士宛回章を見るとよく解ります。

一九二四年六月三日、巴里

親愛なる同人諸氏よ

マソン結社に屬する同人の若干名は、議會同交會を結成せんとする希望をもたらしました。

ついては、諸氏に於ても是非明六月四日金曜日第十四時（午後二時）より開かるゝ合議會へ出席下さいませ。

ル・グラントリアン委員會委員
デ　ィ　ア　ス
ビイヤンフザンス・シャロネーズ・ロッジュ支部長
プ　ア　ト　ヴ　ア　ン

マソン議員の義務

D 併しそんな風にブロックを作つたマソン代議士は果して本當によく結束してゐますか？

R マソン結社はその結社員の義務を明確に規定してゐます。次の引用文をよくお聽き下さい。

『現に佛蘭西上下兩院に席を有するマソン結社員は、少くとも三ケ月に一回グラ

ントリアン結社に參集し、マソン結社とフランス共和國の共通なる利益の申合せをなすべし。』（一八九九年委員會報告書四八四頁）

D なる程、フランス共和國と「共通なる利益」と出ましたね。狡猾なマソン連中、愈々マソン結社とフランス共和國とをごつちやにしてお茶を濁そうてんですね。

R 全くお説の通りで、マソン系大臣ランボオ（一八四二―一九〇五）は嘗て『フランス共和國は表面に出たマソン結社であり、マソン結社は隱れたフランス共和國である』と廣言してゐます。（一八九四年委員會報告書、三八九頁）

要するにマソン議員達は、各自の所屬支部で細かい指圖を受けると共に、グラン・トリアン本部からの命令を受けるべき嚴重な義務が負はされてゐるのです。

D ところで、貴方の引用されたものはどうも少々古色蒼然たる憾みがありますが、もう少々新しいところをお願ひしたいものですね。

R　お望みなら幾らでもあります。例へば一九二四年五月十一日のカルテリストの選擧に備へるために一九二三年のグラン・トリアン委員會が協議したところのものがそれでして、こゝではそれについて上下兩院議員に課せらるべき義務についての部分を示すことにしませう。

『マソン系議員は、吾々がマソン結社の放射物にも等しいのであるから、その代表者たる間は當然結社の手足として奉仕すべきである……彼等は自己への指導法則として總會の議決中議員に關するものに服すべきである。要するに彼等は、その政治生活のあらゆる場合に於て吾々マソン全體を支配しつゝある主義方針に準據して行動すべき義務がある。

彼等は一定の時期に於て所屬のロッジュへ自己の行動について報告する義務がある。

政權による壓迫があつた場合には、自己の所屬すべきところを示して政府に質問すべきである。

彼等は一にフラン・マソン結社の利害を眼目に於てのみ行動すべきである。

彼等は議會内に特殊なる團體を組織し、フラン・マソン結社のために全力をあげて行動することが必要である。（一九二三年委員會報告書三六四頁—三六五頁）

D 要するにマソン達は服從の義務を負はされてゐるのですね。若しこの義務にそむくやうな場合には、彼等はそれぞれ所屬の支部に於て晒首の刑にでも處せられるのぢやありませんか？

R そうです、併し話を先へ進めませう。

『マソン結社員が立候補をする場合、彼等は季員會の決議について知らねばならない。若しそのマソン結社員にして良心あり、熱意ある人間で、吾々と心を一つ

にしてゐるものならば、今更彼に最少限度の基礎的政見綱領を敎へる必要はなく、かくの如きは已に少くとも一ヶ年以來、吾々の間で議決されてゐるのであるから、それについては知つてゐなければならないのである。隨つて彼等が如何なる政見を發表するやは、彼等と彼等の良心との、或ひは又彼等と彼等を聲援してゐる支部との問題であつて、萬一マソン立候補者の政見中に吾等の意見が入つてゐない場合には、その所屬ロッジユは直ちに適切な方法を講じてその立候補を阻止するか、又は彼等をして落選せしむべきである。』(一八九七年總會報告書三二八頁)

D　併し各ロッジユが今申されたやうな行動に出るためには、更に直接的な監視機關が必要なやうに考へられますが?

R　確にそうです。隨つてその目的を最もよく達成するために、マソン結社員間で次の二點が誓約のもとに規定されてゐるのです。

一、フランスのグランド・ロッジユによつて設けられたる一委員會は、議會中のマソン議員の態度及び投票の狀態について注意を忘らざるものとす。（官報及び巴里市報を蒐め本部庶務課へ送る）

二、この委員會は三ヶ月毎に報告書をマソン本部へ提出すべく、そこで本部は各ロッジユをしてその選出代議士に對して適當な措置を執るべく委員を任命させ彼等をして議會に於けるマソン議員の態度を決定せしむるものとす。（『ルヴユウ・マソニツク』一八九九年二月號、二二頁）

マソン結社の政治的陰謀

D そんなにまで監視されてゐるのでは、マソン議員は既に公民ではなく、單にマソン結社員であるに過ぎないぢやありませんか？

R　全くその通りです。

『フラン・マソンは公民たるべきである。……併しすべてを措いてフラン・マソンであるべく、議員候補者であり、市參事會員であり、代議士であり、大臣であり、大統領であることはその次でなくてはならない。彼は絶えずマソン精神の鼓吹を受けることに努め、その職位の向上に從つてその同志間の接觸を繁くし、その間に於てマソンのインスピレーションを體得しなければならぬ……』(“Bulletin Maçonique” 一八八九年、二六七頁)

D　全く自己と言ふものを放棄した形ですね。ところで政界へ身を投じたマソン結社員は口頭以外の誓約を取られるのでせうか？

R　自筆署名の誓約書を徵されることになつてゐるのです。

『一八九七年の委員會は、總選擧を控へて總てのマソン候補者が所屬ロッジュの

支部長に對し、自らの思想的所信と政見とを書き署名した上、全マソン結社の支援を得るためそれを所屬ロツジユへ提出し、所屬ロツジユは更にこれを本部へ廻附することを要求する。そうしてこの聲明書の思想的所信に關する部分は最近の本部委員會の聲明と合致すべく、更にその政見に關する部分は少くとも巴里各ロツジユの會議によつて採決せられたる最小限度の基本的政見と合致すべきことを要求する。』(一八九七年委員會報告書、二三七頁)

D 併し選擧の期間中何處にもそんな聲明書は見當らなかつたやうですが?

R 一般に見えるやうに貼り出してはありません。それはマソン結社の方で『この聲明書は如何なる候補者も公表するに及ばず』と規定してゐるからです。

D そうなりますと、つまるところ彼等マソン候補者達は、選擧人を僞瞞することになりますね?

R　勿論、彼等は自らそれを認めてゐます。次の引用文を御聽き下さい。
『吾等は一八八七年、本部委員會の議長たりし同士カルヴィナックがオート・ガロンヌ縣から立候補したのを援助したが、當時吾々がカルヴィナックに要求したるところは何であつたか？――彼が吾々と同樣懷いてゐた社會主義的民主々義の所信を縣內至るところの塀壁に貼ることであつたか？　否、否、選擧人にそのやうなことを知らせるのはもつての外である。吾々が全マソン候補者に與へた指令は絕對に祕密にされてある。そうしてその一條たりともビラにすることは許されないのである。』（一八九七年、委員會報告書、二三二頁）
D　一般選擧人に是非その事を知らせたいものですね。そうでもしなければ、マソン結社のために國民は大きな危險へ追ひ込まれることになりますが……只一つ幸ひなことにこの結社の會員數はそう大したものでなさそうですから、選擧に當つて彼

等の間から必要なだけの候補者を立てることが出來ないのではないでせうか？

R　その點についても彼等はなか〳〵拔かりなく備へてゐるのです。候補者の總てがマソン結社員でないにしても、總ての立候補者をマソン結社のために働かせることは出來る。即ちマソン選擧人に配布された指令には次の通り出てゐます。

『候補者にして諸君へ援助を乞ふならば、彼等を援ける前に、まづ彼等がマソンであるか否かを確め、若しマソンであるとすれば、彼等が當選したる後も決してマソンたることを忘れざらしむるべく、その意味の誓約を必要とする。また諸君は選擧人としてその力を選擧委員の上にも及ぼし、候補者の總てがマソンたると否とに拘らず、マソン結社の利益を防衞すべく確約せしむべきである。』（"Circulaire du Conseil de l'ordre." 一八九三年七月十七日）

D　マソン結社がその政治上の陰謀を如何にして遂行するかゞよく解りました。

R　マソン結社は既にその政治上の活躍の成功について次の如く豫言してゐます。『理論的分野に於てではなく、吾々の念願とする政治の分野に於ては、爾後十ヶ年内にマソン結社は絶對的優勢の位置を確保し、佛蘭西に於ては吾々を離れては決して政治をなし得ないことになるであらう。』("le Bulletin du G∴ O∴ 一八九〇年、五〇〇頁)

D　そうしてその豫言は見事に適中した譯ですね。そこで今日の問題は、覺醒した熱誠憂國の人々によつてマソンにさらわれた獲物が果して奪還し得るか否かと言ふことになりますが……

R　大變なことでせう。マソンとてもがつちり齒を立ててゐて、いつかな離しさうもありませんからね。

D　一九三二年の左翼派の勝利にも、マソン結社の手がまわつてゐたとお考へでせ

うか？

R　勿論それは確かです。選擧の前日即ち一九三一年一マソン結社員オーベルテイは次のやうな指令を出しました。（一九三一年グラン・トリアン委員會報告書からの拔萃）

『吾々は取除かるべき惡の一つが左翼各派の反目であることを知つてゐる。この反目を取り去るためには、これら左翼の各派を合同せしむべきで、それによつてこそ吾々の捷利を得ることが出來るのである……

『指導精神としては、即ち吾々マソン・マソン結社は今や左翼各派の中樞となり、共和黨系の各勢力を單なる外形のみでなく内質的にも結束せしめ、もつて一九三二年の總選擧に決定的捷利を得せしめなければならないのである。次に來るべき幾多の捷利を得るためには、明年の第一次の捷利こそ重要である。』

そうして左翼各派はその指令に服從し、その結果生れた選擧カルテルはこの第一次の捷利をもたらし、ひいてはこれが一九三六年人民戰線の誕生にまで發展したのであります。

この一九〇二年の捷利は種々なる具體的成果を收めました。即ちマソンも揚言してゐた如く、『教權主義（クレリカリスム）の敗退』を實現したのです。

D マソン結社が教權主義の鞦韆を吊り革の切れるまで搖り動かしたことは、少くとも認めなければなりません。

R そこで考へていただきたいことがあります。マソン結社が向ふに廻してゐる教權主義と云ふのは、今日ではもうカトリック教會の政治的權能と云つたやうな古めかしいものではありません。彼等が教權主義だと言つて敵としてゐるものは、フランスの愛國主義、國民主義、及びその軍隊なのです。

D　そうすると、マソン結社なるものは一體なにをその最終目的としてゐるのでせうか？

R　社會革命、現狀の徹底的な顚覆なのです。彼等の次の告白をおきゝ下さい。『先日私は（マソン結社員コラン）巴里在住の同志本部委員會の一人である某氏より次の如き意見を聞いた。「マソン結社の委員を地方に廻して巴里をお留守にすることはよくない、多くの委員が巴里に住んでゐてこそ、一旦市街戰が起つた場合、よくこれを指揮し、善處することが出來るのだ」』（一八九九年グラン・トリアン總會報告書、六一頁）

もう一つ新しいのを申し上げませう。

『この國際的大革命こそはフラン・マソン結社の引受けてゐる明日の仕事である。』（"le Bulletin du G∴ O∴"）

D すると彼等はソヴエトの行政機關のやうなものを設け、世界的に社會主義を實現せしめやうと言ふのですか？

R フランスがそれ自體の本然の姿にかへらない限り、彼等の目的はフランスに於てまづ實を結ぶでせう。

七　マソンは排他的結社

反宗敎的法令の起草

D 併しロシヤの革命は從來の行政權を覆滅させるだけで滿足せず、一切の宗敎思

想を絶滅せしめんとしたのですが、マソン結社のインタナショナリズムにも同様なものが含まれてゐますか?

R　マソン自ら次の如く廣言してゐます。

『カトリック教とマソン結社との闘爭はいづれか一方が倒れない限り、休戰なぞあらう筈がない。』("Memorandum du Suprême Conseil nme 85, P. 48.")

また次のやうなものもあります。

『フラン・マソンは、カトリック教に完全撃滅を與へるまでは、手を休むべきでない。』("Le Bulletin du G∴ O∴" 一八九五年九月一六八頁)

ところで、近頃出された反宗教的法令は悉く此等マソン結社員によつて起草されたものです。彼等はラヌサン(マソン結社員)を通じて聖なる金曜日の儀式を海軍内で行ふことを禁止させた外、強制寄託によつて結社法を通過せしめました。そう

してこの結社法こそカトリック教のあらゆる團體組織を禁じたものなのです。これはあなたも御存じでせう。

排他的決議の實例

D あなたはフラン・マソンの結社の役割を大きく見てゐられるやうですね。

R 彼等の役割はいくら大きく見立てても過大に見積る心配はありません。序ながら委員會で採決された色々な決議と議案を項目だけですが讀みあげませう。

(1) 自由への反撃としては、――ファルー法の廢棄、即ち教育を全部國家の獨占にすること。

カトリック教徒の官公吏任命を禁止すること。("Le Bulletin du G.: O.:" 一九三一年號、二九八頁)

(2) 普通法に反對するものとしては、――大工業の國有化、相續權及び贈與權の廢棄。（グラン・ロッジュ委員會一九二三年）

保險業・銀行業・鐵道等の國有化。（グラン・トリアン委員會一九三一年）

(3) 宗教に反對するものとしては――アルサス、チユニス、モロツコに於ける政敎分立。

此等の地方に於ける祭式費豫算の廢止。（グランド・ロッジュ委員會、一九三一年）

D 併しいくらマソン結社でも、アルサスの聖職者とかアフリカ保護領の回敎僧侶を、大戰前本國のカトリツク聖職者を傷めたやうに傷める譯にはゆきますまい？

R どう致しまして、マソン結社は上下兩院で多數議員を擁してゐますので、自らの決定したことを法令化することはなんでもありません。

D　そうおつしやると、近來の出來事は凡てあなたの言葉を裏書きするものゝやうですね。

それで一寸お訊ねいたしますが、今引用して下さつたファルー法の廢棄とか、一切の敎育を國家の手によつて獨占すると言ふやうな、マソン結社の色々な決議を見ますと、之はつまりマソン結社なるものが排他主義を執つてゐることになるやうですが？

R　如何にもそうです。以上の如き決議は、最も神聖な權利への、家長たる者への侵害を意味するもので、これらは一九三一年のグランド・ロッジュ委員會で採擇されたのですが、その時は滿場一致で次の結論に達したのです。

『國民の教育は民主々義國にとつての第一次的義務であり、それこそ民主々義國の存續を確固たらしむるものである。子供に對しては國家の費用と義務に於て普ねく教育を普及すべきである。ファルー法を廢棄せしめ、新しく學校令を制度實施し、併せて國家の中・高等各種學校の男女教育者に對しては所謂檢定制を施行せねばならない。年期奉行者、徒弟等に對しては課稅を廢し、無月謝にて凡ての學校への入學を許し、國家自體の利益のために單一學校制を採り、少くとも國民學校を獨占することが必要で、吾々はこの實現を圖らねばならぬ。』(グランド・ロッジユ委員會報告書、二八一頁)

八　マソンの潜行的祕密力

社會各層を侵蝕

D お話によつてマソン結社が如何なる事を企て、また如何なる遣り口で達成を圖りつゝあるかがよく解りました。併しまだ一つ腑に落ちない點があります。マソン結社は比較的少數の會員を包含してゐるに過ぎないのに、どうして周圍へそんなにも強大な威力を及ぼすのでせうか？

R その點の説明は簡單です。マソン結社は想像に絶した潛行的秘術をもつて自らを現存社會の凡ゆる階層へ浸潤させてゐるのです。その戰略は一八八二年七月のナンシイ大會の決議に基いたもので、爾來五十年間一貫したものなのです。

『フランス内に團體精神を喚起する名譽と義務こそ、マソン結社に歸し屬すべきものである。その都市の如何を問はず、ある都市に公益的にして善良なる思附きが熟したやうな場合その性質、その出所の如何に拘らず、その都市のマソン結社は支部の賛助を得てその思ひ附きを實現せしむべく期成委員會に類するものを組

織すべきである。これは別に新しい遣り口ではなく、吾々の目覺しい諸支部が古くから實行し來つたところのものである。

かくて一つの支部が鼓吹機關となり、而も一般市民の助力の下に、所謂期成委員會の如きものが出來た上は、マソン結社員がその核心となり、寧ろ能動的に首腦部となつて、自らの掌中に指揮・管理の權能を收め、その團體をしてマソン結社の企圖に沿つた進路を辿らしむべきである。

かうして、一つ〳〵の支部が種々なる團體や組合の王座を占むるに至り、マソンに十倍乃至十五倍するそれら團體員乃至組合員がマソンによつて鼓吹され、指導されて、吾々の追及しつゝある大目的の達成に助勢することゝなつたら、マソン結社が非マソン社會に對し有する勢力は如何やうにでも强大なものとなり得るであらう。

『フランン・マソン結社は民主々義運動の指揮に當る實力を有し、本部委員會、各ロッジユ・マソン結社員一同と言ふ三重の組織體を通じて活動する。

隨つて吾がマソン結社は、マソン外民主主義者の間に自らを浸潤せしめ、はじめて彼等をして吾等のグループに有利に働かしめ得るのである。』（一九三一年“L'eBulletin du G∴ O∴”）

教育聯盟の正體

D　するとこれは一種の民衆獨占を意味する譯ですね。

R　全くそうなんです。この運動の始まりは、教育聯盟の創立にまで遡るのです。即ち今申上げたナンシイ大會で、各國へこの聯盟の實行機關を設置すべき必要が强調されたので、この機關こそはマソン電流を民間へ傳へるための絶好な導體である

ことになつたのです。その會の或る發言者は次の如く言つてゐるのです。

『かゝる教育聯盟の機關が出來上れば、嚴選した若いマソン結社員をその核心に据えて置いて、若い學生達が直接マソンの感化を受けるやうにすべきである。』（一八八二年、ナンシイ大會）

D 成る程マソン結社にとつては青年をそつくり抱き込んで置くことが極めて重要と認められたらしいですね。

R 確にそのために全力を注いだのです。その點については猶ほ一八九八年にマソン代議士マツセの述べたところを參照しませう。

『既にフランスの多くの都市には、吾々にとつて一大利益を與へるやうな教育組合が存在し――もつと精確に言へば、生成されつゝあるのだ。此等はユニオン又はコンフエデラシオンと稱せられ、毎日曜日又は祝祭日に若い學生等を集めて特

殊の教育を施すものである。これらは形に於てはマソン教育部と言つた明瞭なものでなく、非マソン市民の事業の核心にマソン結社員が參加してゐると言ふ風のものであるが、これには出來得る限りの援助を與ふる必要がある。と言ふのは、これらの機關こそ最も有効にカトリック教徒乃至教權主義の教育機關に働きかけることが出來るからである……。この機關は將來軍隊内のカトリック諸集團に强力な頽廢的影響を及ぼすやうにならう。

『マソンは、これらの教育機關に集り來る若い人々を注意深く觀察し、彼等のなかへマソン的精神を培養發育せしめなければならないと共に、吾々のロッジュをして更に新しい社會階層より新しい會員を獲得しなければならない。

『もとよりこれは時日を要する仕事で、その達成には深甚な機略と謀計を要するのである。』（一八九八年、委員會報告書、二七九頁）

それ以來カトリック敎會と直接關係のない種々なる青年のクラブや團體が、マソンの斡旋と奬勵によつて出來上つたのです。これらはマソン自らがその目的を遂行せんがためのものです。(『マソンの掌中にあるフランス』參照)

九　マソンはブルジヨワ結社

庶民の入會を好まず

D　あなたは今マソン結社が從來とはちがつた新しい社會層から新しい會員を獲得すると仰しやいましたが、これらの民主々義的結社が新らしい構成員を獲得するのは主にどうした社會層からでせうか?

R　いや、それは反民主々義結社と云つた方がいゝでせう。この結社は彼等のなか

に一般庶民の入ることを望みません。つまりそれは一般庶民は入會金は勿論寄附金を支拂ふことが出來ないからです。隨つて彼等の考へでは一般庶民を選擧の時に役立つやうに手なづけて置けばよいのです。そうして今も昔も、この結社の會員は純然たるブルジョアばかりです。マソン結社は官吏の苗床、代議士になるための梯子だと言はれてゐますが、正にその言葉に相違はありません。然るにこれは一般庶民にとつては當てはまらないもので、更に次の言葉はマソン結社のブルジョア性を明らかにするものです。

『フラン・マソン結社は、その會員の所屬する社會層から見ても、會員の負擔すべき金額から見ても、ブルジョア結社である。』（『マソン評論』九月十日號、二〇七頁）

D は て、私はこれまで各支部の會員は勞働者がその大多數を占めてゐると考へて

ゐたのですが……。

R 若し勞働者が支部の入口へでも現れやうものなら、役員は次のやうな劍突を喰はせるでありませう。

『ふん、君は勞働者だね、プロレタリアートぢや入會金も寄附金も支拂へないだらう。君などは安月給取りで、ケチな親方と言ふところまでもいつてゐない。その日暮しの奴ッこさんだね。貯へなんてものも勿論あるまい。歸つた方がいゝよ。入會するにはお金が必要なんだ。その金の出場がなけりや問題にならないさ。君には何もない。惡い先入觀も憎惡も反抗心も、それに金もない。別に道だの光明だのを求める必要なんかありはせん。』(『フラン・マソン結社と勞働者』巴里控訴院附辯護士ポール・ヌリン著)

入會條件

D　そうした入會條件が何處かに明記してあるとでもおつしやるのですか？

R　あります。グラン・トリアン憲法に次の如くあるのです……。

『下記の如き人物は入會を許されてフラン・マソン結社員たる者の諸權益を享有し得ざるものとす……。

第三、相當且つ餘裕ある生活を營み得ざる者。』（グラン・トリアン憲法及一般規定、一九三一年）

D　グラン・トリアンは資力のないものの爲に、無料入會の特別法を設けてゐると聞いてゐますが……

R　それは教員連、つまりマソン結社の極秘の計畫に下働きの役を勤めることの出

來る者のみに許されるので、勞働者には許されないのです。勿論マソン間に於ても入會金が高過ぎると言ふ聲はあります。

入會金

D それでは、その入會金はどの位のものでせうか?

R 支部によつて規定額が違ひますが、割當寄附金は最小額八十フランから百五十フランと言ふところでありまして、入會金はうんと高いし、マソン結社員になつてからも級位が上る度に相當纒まつた金額を徴收されるのです。隨つて今日のやうな不景氣時代には、勞働者がマソン結社へ入會するなどゝ云ふことは出來ることでありません。またマソン結社員達は、マソン結社へ勞働者が入つて來ると、マソン結社は完全にその道徳的典型性を失ふと言ふのです。

D　ぢや勞働者なんて人間が入つて來るとその典型的な集團が目茶苦茶になるとおつしやるのですね？

R　要するに彼等は尊大に構へてゐるので、一九〇〇年巴里で英國派の一ロッジュが設けられた時、次の如き演說がなされたのであります。

『吾々の同友アングロ・サクソンは、その支部のために、そこへ出席する時フロツクに白の手袋と言ふ服裝で威儀を正すが、吾々はそれまでにしなくとも、吾々の集合所が凡ゆる團體中最も優れたる場所であることを表示すべきである。現にコスモス社の如きは、風儀の弛緩を憂へて適宜の措置を執つたほどである。』（『マソン評論』一九〇九年二月號、三二頁）

これはコスモス社が入會金を二千フランに引上げたことを指したもので、これは勞働者にとつて少し荷が勝ち過ぎる譯です。

一〇　マソン結社は國際的結社

反愛國主義運動を指導

D　マソン結社は惡質な國際主義を奉じ、祖國愛とか祖國觀念を抹殺せんとしてゐると聞きますが……

R　それを證明するものとしては、グランド・ロッジュ委員會報告書中に歴然と現れてゐるところです。

『財閥と帝國主義者との口實に使はれてゐるのが祖國愛なる古ぼけた觀念で、これに再檢討を加へる必要がある……』（"Le Convent de la Grandle loge" 一九三一年、二九八頁）

それにマソン結社全體としてではないが、各マソン結社によつて進め指揮されつゝある反愛國主義的運動に徴しても、彼等の眞意を窺知することが出來るのです。

各國マソンの連絡

D 私は或る新聞紙で、フランスのマソン結社は、現在ヨーロッパの凡ゆる他のマソン結社からのけ物にされてゐると言ふ記事を拜見いたしましたが……

R それは間違つてゐます。その證據としてはグラン・トリアン派と、蘇格蘭派との年鑑を見るだけで十分で、フランスのマソン結社は以下の諸國のマソン結社と友好關係にあることは、それによつて明らかになります。

獨逸、墺太利、白耳義、ブルガリヤ、蘇格蘭、西班牙、ギリシヤ、和蘭、匈牙利、伊太利、愛蘭、ルクサンブール大公國、諾威、波蘭、葡萄利、ルーマニヤ、

瑞西、チエッコスロヴアキヤ、ユーゴスラヴイヤ、土耳古、それから歐洲以外では
アルゼンチン共和國、カナダ、智利、キユーバ、アメリカ合衆國、コロンビヤ、ドミニンカ共和國、エクアドル、埃及、ハイチ、メキシコ、秘露、ウルグワイ、パラグワイ、ヴエネズエラ、ガテマラ、ホンジユラス、パナマ、サルヴアドル等である。

また此等の國々との關係から考へても、フラン・マソン結社が國際主義のものであることは明白です。實際この結社は、社會主義と手を組んで世界中を押し歩いてゐるのです。

D その國名のうちに英國のなかつたのはどうしたのですか?

R 確に英・佛のマソンの間には教理に不一致のものがあります。フランスではマソン結社が宇宙の大建築師なる觀念を棄てゝしまひましたが、イギリス人はこれを棄てることが出來ないのです。

D　それでは英・佛のマソンの間にはなんの關係もないのでせうか？

R　巴里のロッシユアール街四二號に英國マソン結社の一支部（ラ・グランド・ロッジユ・ナショナル）の創設されたことは前に述べました。最近には倫敦で三つのフランス派の支部が開かれました。その他マソン結社全體或ひは一派の利益が、その協同を要求すると言ふ場合には、英・佛の兩支部が歩調を合せることも事實であり、その事實に關する記錄もあります。それに又各國の『第三十三級マソン最高評議員會』が、英國も加へて聯盟を造つてゐることを擧げておかねばならないのです。

D　時々マソン結社として國際的意思表示をすることがありますか？

R　壽府にある國際マソン聯盟は、毎年國際大會を催して、それには二十ケ國の各派の委員が集ります。

各國マソン共通の合圖

D　各國のマソンの間に合圖と言つたものがありますか？

R　危險な時の合圖をおつしやるのでせうね。それについてはマソン評論の中に明にされてゐます。

『獨逸「ベルリーナー・ヘーロルト」紙が讀者に對して、危急な時の合圖の實例について寄稿を求めたことがあつた。

それは一八七〇―七一年の普佛戰爭の時の出來事であつた。獨逸人アルベルト・リヒアルトは一八七一年九月三日―四日ヴォクレールでフランス義勇軍の捕虜となつて銃殺されんとした時、彼のなした危急の合圖に應じて、その場へ一人のフランス人が飛出して『これは私の兄弟だ』と言つた……』（一九〇〇年六月『マ

ソン評論』九四頁）

その次に記者は、マソン結社員リヒアルトは獨逸の間諜であつたが、フランス人の『これは私の兄弟だ』で、銃殺を免れたのであると付記してゐます。

D それにしても、それに關してマソン結社の方で公式に聲明したものはありませんか？

R フランス・グラン・トリアンの理事ブーイリは次のやうな聲明をしてゐます。『マソン間の絆は絶對的に強く、この絆は各々の屬する國々が戰爭しても斷たれないのである。』

『國籍とか軍服の相違に氣を奪はれてはならない。凡ゆるマソン結社員を同友として認め、汝等のマソン結社員たる誓約を念頭に置いてゐることが大切だ。』（『ラ・グローブ』第四卷、四頁）

『戰場で相爭つてゐる兵士達が合圖一つではたと手をとどめる光景はいくらもあつた……更に感銘することは、今まで命の取合ひをしてゐた者共が、この暗號があると武器を投げて同交の接吻を交し、即ち宣誓の友となるのである。』(『ラ・グローブ』三號、四四六頁)

D　それでは軍紀も糞もあつたものでない、まして祖國の感念も……

R　そうなんです、祖國が裏切りによつて負かされたとしたら、吾々はマソン結社を裏切り者と斷ずべきであります。

一　結　論

D　有難うござんした。これで私にもマソン結社が反自由主義・反フランス的・反宗教的であることがはつきり解りました。この結社は吾々を物心兩側の破滅へ追ひ

込むものです。

R で、あなたはどんな結論を得られましたか？

D それは至極簡單です。純眞なる全フランス人は一刻も早く一身同體となつて決死的努力を奮ひ、祖國をフラン・マソンの暴虐から救ひ出して、凡ゆる失はれた自由を奪回しなければなりません。

吾々は教會の手に支配されることを欲しませんが、同時に又別種の教權であるマソン結社の權力から脱れなければなりません。マソン結社は只それだけのものとしてやつて行けば、吾々とて別に迫害しやうなどとは思ひません。現在のマソン結社の暴力は斷じて許すことができません。

國際秘密力研究叢書第五册
昭和十四年五月十日印刷
昭和十四年五月十三日發行
マソン結社の組織と秘密
定價五十錢
版權所有
譯者　國際政治學會調査部
東京市麹町區内幸町二ノ三ノ一
發行人 印刷人　蘇理伊太郎
東京市麹町區霞ケ關三ノ三ノ五
印刷所　ダイヤモンド社印刷部
東京市麹町區内幸町二ノ三（幸ビル）
發行所　政經書房
振替口座東京一三七五八三番
電話銀座一二一八番

國際祕密力研究叢書

著者	書名	定價・送料
安江仙弘著	ユダヤの人々	定價壹圓 送料九錢
長谷川泰造著	國際祕密力の話	定價壹圓八十錢 送料十四錢
英國陸軍中佐 G・S ハッチスン著 後藤富男譯	世界大戰並に歐洲政局を繞る 猶太祕密力の裏工作	定價七十錢 送料六錢
貴族院議員 赤池濃著	支那事變と猶太人	定價五十錢 送料六錢
佛國 J・ド・ボアステル著 國際政經學會譯	國際ロータリーとマソン結社	定價五十錢 送料六錢

東京市麴町區 內幸町ビル

政經書房

電話銀座一二一八番
振替東京一三七五八三番

政經書房

¥.50

終